

発行日 2016年02月08日  
改訂日 2025年08月21日

## 安全データシート

### 1. 化学品及び会社情報

製品名 : 鉄粉配合パテ スタンダード  
仕様 : 主剤  
会社名 : 株式会社MonotaRO  
所在地 : 〒660-0876 兵庫県尼崎市竹谷町2-183 リベル3階  
担当者名 : 商品お問合せ窓口  
電話番号 : 0120-443-509  
FAX番号 : 0120-289-888  
緊急連絡先 : 所在地と同じ  
整理番号 : M250909

### 2. 危険有害性の要約

#### GHS分類

物理化学的危険性 : 可燃性固体 : 区分に該当しない  
健康に対する有害性

: 急性毒性(経口) : 分類できない  
: 急性毒性(経皮) : 分類できない  
: 急性毒性(吸入:気体) : 区分に該当しない  
: 急性毒性(吸入:蒸気) : 分類できない  
: 急性毒性(吸入:粉塵、ミスト) : 分類できない  
: 皮膚腐食性/刺激性 : 区分2  
: 眼に対する重篤な損傷/眼刺激性 : 区分2  
: 呼吸器感受性 : 分類できない  
: 皮膚感受性 : 区分1  
: 生殖細胞変異原性 : 分類できない  
: 発がん性 : 分類できない  
: 生殖毒性 : 分類できない  
: 生殖毒性・授乳影響 : 分類できない  
: 特定標的臓器毒性(単回ばく露) : 分類できない  
: 特定標的臓器毒性(反復ばく露) : 分類できない  
: 誤えん有害性 : 区分に該当しない

環境に対する有害性 : 水生環境有害性 短期(急性) : 区分2  
: 水生環境有害性 長期(慢性) : 区分2  
: オゾン層への有害性 : 分類できない

#### GHSラベル要素

#### 絵表示



#### 注意喚起語

: 警告

#### 危険有害性情報

: 皮膚刺激(H315)  
アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ(H317)  
強い眼刺激(H319)  
水生生物に毒性(H401)  
長期継続的影響によって水生生物に毒性(H411)

#### 安全対策

: 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。(P261)  
取扱後はよく手を洗うこと。(P264)  
環境への放出を避けること。(P273)  
保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。(P280)

## 3. 組成、成分情報

単一製品・混合物の区別 : 混合物  
 化学名 : エポキシ樹脂組成物

| 成分名                   | %(wt)   | CAS No.                 |
|-----------------------|---------|-------------------------|
| ビスフェノールA型エポキシ樹脂(液状)   | 20～24   | 25068-38-6              |
| ネオペンチルグリコールジグリシジルエーテル | 2～5     | 17557-23-2              |
| 鉄                     | 非公開     | 7439-89-6               |
| 結晶質シリカ                | 0.3～0.5 | 14808-60-7<br>7631-86-9 |
| その他                   | 非公開     | 非公開                     |

※含有量は範囲で表示しており、正確な数値は営業上の秘密に該当します。

## 4. 応急措置

吸入した場合 : 気分が悪い場合は医師に連絡すること。  
 皮膚に付着した場合 : 多量の水と石鹸で洗うこと。  
 皮膚刺激または発疹が生じた場合は、医師の診断 / 手当てを受けること。  
 汚れた衣類を再使用する場合は、洗濯をすること。  
 眼に入った場合 : 水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。  
 眼に刺激が続く場合は、医師の診断/手当てを受けること。  
 飲み込んだ場合 : 口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。気分が悪い場合は医師に連絡すること。

## 5. 火災時の措置

消火剤 : 粉末消火器, 泡消火器, 炭酸ガス消火器, 砂, 霧状の水  
 使ってはならない消火剤 : 棒状の水(炎を拡散する恐れがある)  
 火災時の危険有害性 : 消防活動の際には有毒ガスが発生するので、煙を吸入しないよう注意する。  
 特定の消火方法 : 初期の火災には、粉末消火器、炭酸ガス、乾燥砂等を用いる。  
 大規模火災の場合は泡消火剤等を用いて空気を遮断することが有効である。  
 消火のための放水等により、製品もしくは化学物質が河川や下水に流出しないように適切な措置を行う。  
 消火作業は風上から行い、必ず保護具を着用する。  
 関係者以外は安全な場所に退避させる。  
 可燃性のものを周囲からすばやく取り除くこと。  
 (大火災の場合)爆発のリスクを最小限にするため、霧状の水を使用して容器を冷却する。  
 消火を行う者の保護 : 適切な保護具(耐熱性着衣等)を着用する。  
 可燃性のものを周囲からすばやく取り除くこと。

## 6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、  
 保護具及び緊急時措置 : 作業の際には、保護手袋、前掛け、保護マスク等を着用し、皮膚に付着しないようにすること  
 環境に対する注意事項 : 河川等に廃棄しないように注意する。  
 封じ込め及び浄化の方法・機材 : ウェスなどで拭き取る。付着物、廃棄物等は、焼却処分する。  
 二次災害の防止策 : 付近の着火源となりそうなものを速やかに取り除く。  
 着火した場合に備え、適切な消火器を準備する。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い上の注意  
 技術的対策 : 皮膚、粘膜又は着衣に着けないこと。  
 眼及び皮膚への接触を避けるため適切な保護具を着用する。  
 取扱い後には手、顔等をよく洗う。

|           |                                                               |
|-----------|---------------------------------------------------------------|
| 局所排気・全体換気 | : 通気の良い作業場所を確保する。<br>密閉空間で作業する際は局所排気装置等を活用。                   |
| 注意事項      | : 火気源(生火、アーク、高温物)の近くで取り扱わない。<br>密閉された場所における作業には十分な局所排気装置を付ける。 |
| 保管        |                                                               |
| 保管条件      | : 容器の蓋を密閉状態にし、直射日光の当たらない冷暗所に置く。<br>火気や熱源から遠ざけて保管する。           |
| 安全な包装材料   | : 現行容器のままで保管する。                                               |

## 8. ばく露防止及び保護措置

安衛法:化学物質による健康障害防止のための濃度の基準(濃度基準値設定物質)

|            |                                                           |
|------------|-----------------------------------------------------------|
| 物質名        | : 該当なし                                                    |
| 許容濃度       | : 結晶質シリカ 0.03mg/m <sup>3</sup> (吸入性粉塵)(日本産業衛生学会)          |
| 設備対策       | : 密閉空間では局所排気装置を設置すること。<br>取扱場所の近くに手洗い、洗眼設備等を設け、その位置を明示する。 |
| 保護具        |                                                           |
| 呼吸器の保護具    | : 換気条件が悪ければ保護マスク                                          |
| 眼の保護具      | : 保護メガネ                                                   |
| 皮膚及び身体の保護具 | : ゴム手袋、長袖の着衣など                                            |

## 9. 物理的及び化学的性質

|                        |                              |
|------------------------|------------------------------|
| 物理的状态                  |                              |
| 状態                     | : ペースト状                      |
| 色                      | : 濃グレー色                      |
| 臭気                     | : 僅かなエーテル臭                   |
| 融点・凝固点                 | : データなし                      |
| 沸点又は初留点                | : データなし                      |
| 可燃性                    | : 火をつけると燃焼する。                |
| 爆発下限界及び爆発上限界           | : 該当しない                      |
| 引火点                    | : 該当しない (エポキシ樹脂 引火点:262℃)    |
| 自然発火点                  | : 該当しない                      |
| 分解温度                   | : データなし                      |
| pH                     | : 該当しない                      |
| 動粘度率                   | : 該当しない                      |
| 溶解度                    | : 水に対して一部溶解, ケトン系、芳香族溶剤に一部可溶 |
| n-オクタノール/水分配係数(log 値)  | : 該当しない                      |
| 蒸気圧                    | : 該当しない                      |
| 密度(g/cm <sup>3</sup> ) | : 2.7～3.0                    |
| 相対ガス密度                 | : 該当しない                      |
| 粒子特性                   | : データなし                      |

## 10. 安定性及び反応性

|            |                                            |
|------------|--------------------------------------------|
| 安定性        | : 常温・常圧、密閉状態であれば安定                         |
| 化学的安定性     | : 通常取り扱いであれば安定                             |
| 危険有害反応可能性  | : 強酸化剤、強酸、強アルカリ類、アミン類と反応し発熱する。             |
| 避けるべき条件    | : 高温、多湿、火花及び直火、混触禁止物質                      |
| 接触混合禁止物質   | : 強酸、強酸化剤、強アルカリ類、アミン類、酸無水物、エポキシ樹脂硬化剤、重合開始剤 |
| 危険有害な分解生成物 | : 燃焼すると有害ガス(二酸化炭素、一酸化炭素)が発生する。             |

## 11. 有害性情報

## 急性毒性

- 経口 : 既知成分はすべて区分に該当しない。ただし毒性未知成分が0.1%以上含有のため区分を「分類できない」とした。
- 経皮 : 既知成分はすべて区分に該当しない。ただし、毒性未知成分が0.1%以上含有のため区分を「分類できない」とした。
- 吸入:気体 : 本製品はGHS定義による気体ではないため区分に該当しない。
- 吸入:蒸気 : 既知成分より計算結果がATEmix=34.2mg/Lであり、20mg/L以上のため区分に該当しない。ただし、毒性未知成分が0.1%以上含有のため区分を「分類できない」とした。
- 吸入:粉じん、ミスト : 既知成分より計算結果がATEmix=6mg/Lであり、5mg/L以上のため区分に該当しない。ただし、毒性未知成分が0.1%以上含有のため区分を「分類できない」とした。

## 皮膚腐食性／刺激性

: ビスフェノールA型エポキシ樹脂(液状)とネオペンチルグリコールジグリシジルエーテルの合計含有量が10%以上のため区分2に該当。皮膚刺激(H315)

眼に対する重篤な損傷性／  
眼刺激性

: ビスフェノールA型エポキシ樹脂(液状)とネオペンチルグリコールジグリシジルエーテル、その他眼区分1物質の含有量の加算方式より 眼区分1×10+眼区分2が10%以上のため区分2に該当。強い眼刺激(H319)

## 呼吸器感作性

: データ不足のため分類できない。

## 皮膚感作性

: ビスフェノールA型エポキシ樹脂とネオペンチルグリコールジグリシジルエーテルの合計含有量が1%以上のため区分1に該当。アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ(H317)

## 生殖細胞変異原性

: 危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有しないため、区分に該当しない。ただし、毒性未知成分が0.1%以上含有のため区分を「分類できない」とした。

## 発がん性

: 含有する結晶質シリカは粉じんの吸入ばく露によりがんの発症リスクが増加するのは十分な証拠があるため、0.1%以上の含有で区分1に分類されるが、本製品はペースト状であり粉じんの吸入は考えられないため、区分を「分類できない」とした。

## 生殖毒性

: 危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有しないため、区分に該当しない。ただし、毒性未知成分が0.1%以上含有のため区分を「分類できない」とした。

## 生殖毒性・授乳影響

: データ不足のため分類できない。

## 特定標的臓器毒性(単回ばく露)

: 危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有しないため、区分に該当しない。ただし、毒性未知成分を含有しているため、区分を「分類できない」とした。

## 特定標的臓器毒性(反復ばく露)

: 危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有しないため、区分に該当しない。ただし、毒性未知成分を含有しているため、区分を「分類できない」とした。

## 誤えん有害性

: 本製品はペースト状であり、動粘度率が20.5 mm<sup>2</sup>/s以上であるため、区分に該当しない。

\* 本製品での安全性試験は行っていない

## 12. 環境影響情報

## 水生環境有害性(急性)

: 区分2 水生生物に毒性 加算法により計算

## 水生環境有害性(慢性)

: 区分2 長期継続的影響によって水生生物に毒性 加算法により計算

## 残留性・分解性

: データなし

## 生体蓄積性

: データなし

## 土壌中の移動性

: データなし

## オゾン層への有害性

: データ不足のため分類できない。

## 13. 廃棄上の注意

- 残余廃棄物 : 都道府県知事の許可を受けた廃棄物業者に、正規の方法で委託し処分する。  
主剤と硬化剤を混合し、硬化させて固形状になったものは、廃プラスチック類として処理する。
- 汚染容器及び包装廃棄 : 空容器を廃棄する際は、内容物を完全に除去した後に処分する。

## 14. 輸送上の注意

- 注意事項 : 転倒、落下、破損のないように積み込み、荷崩れ防止を確実に行うこと。
- 陸上輸送 : 法令の基準に従い積載、運送を行う。
- 海上輸送 : 船舶安全法の定めるところに従うこと。
- 航空輸送 : 航空法の定めるところに従うこと。
- 国連分類 : 9
- 国連番号 : 3077(環境有害物質(固体))
- 容器等級 : III

## 15. 適用法令

## 化審法

- 優先評価化学物質 : ビスフェノールA型エポキシ樹脂(液状)
- 労働安全衛生法  
名称等を表示し、又は通知すべき危険物及び有害物、リスクアセスメントを実施すべき危険有害物  
表示対象物質 : ビスフェノールA型エポキシ樹脂(液状)、  
ネオペンチルグリコールジグリシジルエーテル、  
結晶質シリカ  
通知対象物質 : ビスフェノールA型エポキシ樹脂(液状)、  
ネオペンチルグリコールジグリシジルエーテル、  
結晶質シリカ
- がん原性物質(作業記録等の30年保存対象物質)  
: 結晶質シリカ
- 化学物質による健康障害防止のための濃度の基準(濃度基準値設定物質)  
: 非該当
- 皮膚等障害化学物質等及び特別規則に基づく不浸透性の保護具等の使用義務物質  
皮膚刺激性有害物質 : ビスフェノールA型エポキシ樹脂(液状)、  
ネオペンチルグリコールジグリシジルエーテル  
皮膚吸収性有害物質 : 該当なし
- 特定化学物質等(特化則) : 非該当
- 有機溶剤等(有機則) : 非該当
- 変異原性が認められた化学物質 : ビスフェノールA型エポキシ樹脂(液状)
- 特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律(PRTR法)  
: 非該当
- 消防法 : 指定可燃物 合成樹脂類
- 毒物及び劇物取締法 : 非該当

## 16. その他の情報

## 参考文献

- 1) 独立行政法人製品評価技術基盤機構(NITE)Home Page
- 2) 各原料のSDS
- 3) JIS Z7572-2019 GHSに基づく化学品の分類方法

危険・有害性の評価は必ずしも十分ではないので、取扱いには十分注意してください。本製品は、この安全データシートをご参照の上、使用者の責任において適正に取り扱ってください。  
ここに記載された内容は、現時点で入手できた情報やメーカー所有の知見によるものですが、これらのデータや評価は、いかなる保証もするものではありません。  
また法令の改正及び新しい知見に基づいて改訂されることがあります。

発行日 2017年02月08日  
改訂日 2025年08月21日

## 安全データシート

### 1. 化学品及び会社情報

製品名 : 鉄粉配合パテ スタンダード  
仕様 : 硬化剤  
会社名 : 株式会社MonotaRO  
所在地 : 〒660-0876 兵庫県尼崎市竹谷町2-183 リベル3階  
担当者名 : 商品お問合せ窓口  
電話番号 : 0120-443-509  
FAX番号 : 0120-289-888  
緊急連絡先 : 所在地と同じ  
整理番号 : M250909

### 2. 危険有害性の要約

#### GHS分類

物理化学的危険性 : 可燃性固体 : 区分に該当しない  
健康に対する有害性 : 急性毒性(経口) : 分類できない  
: 急性毒性(経皮) : 分類できない  
: 急性毒性(吸入:気体) : 区分に該当しない  
: 急性毒性(吸入:蒸気) : 分類できない  
: 急性毒性(吸入:粉塵、ミスト) : 区分4  
: 皮膚腐食性/刺激性 : 区分1  
: 眼に対する重篤な損傷/眼刺激性 : 区分1  
: 呼吸器感受性 : 分類できない  
: 皮膚感受性 : 区分1  
: 生殖細胞変異原性 : 分類できない  
: 発がん性 : 分類できない  
: 生殖毒性 : 区分2  
: 生殖毒性・授乳影響 : 分類できない  
: 特定標的臓器毒性(単回ばく露) : 分類できない  
: 特定標的臓器毒性(反復ばく露) : 分類できない  
: 誤えん有害性 : 分類できない  
環境に対する有害性 : 水生環境有害性(急性) : 区分2  
: 水生環境有害性(慢性) : 区分2  
: オゾン層への有害性 : 分類できない

#### GHSラベル要素

絵表示 : 

注意喚起語 : 危険

危険有害性情報 : 重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷(H314)  
アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ(H317)  
重篤な眼の損傷(H318)  
吸入すると有害(H332)  
生殖能又は胎児への悪影響のおそれの疑い(H361)  
水生生物に毒性(H401)  
長期継続的影響によって水生生物に毒性(H411)

安全対策 : 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。(P260)  
取扱後はよく手を洗うこと(P264)  
環境への放出を避けること。(P273)  
保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。(P280)

## 3. 組成、成分情報

単一製品・混合物の区別 : 混合物  
 化学名 : ポリアミン組成物

| 成分名                                                               | % (wt)  | CAS No.     |
|-------------------------------------------------------------------|---------|-------------|
| ポリアミド, ポリアミン<br>(反応不純物として<br>トリエチレンテトラミン(CAS No112-24-3) <17% 含有) | 非公開     | 非公開         |
| アモルファスシリカ                                                         | 5～10    | 112945-52-5 |
| 4-ターシャリーブチルフェノール                                                  | 4.0(平均) | 98-54-4     |
| 1,3-ビス(アミノメチル)シクロヘキサン                                             | 2～3     | 2579-20-6   |
| 酸化チタン                                                             | 0.5～0.9 | 13463-67-7  |
| 2-ピペラジン-1-イルエチルアミン                                                | 0.5～0.9 | 140-31-8    |
| メタ-キシリレンジアミン                                                      | 0.5～0.8 | 1477-55-0   |
| フェノール                                                             | 0.1～0.3 | 108-95-2    |
| その他                                                               | 非公開     | 非公開         |

※含有量は範囲で表示しており、正確な数値は営業上の秘密に該当します。

## 4. 応急措置

吸入した場合 : 空気の新鮮な場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。  
 気分が悪いときは医師に連絡すること。

皮膚に付着した場合 : 多量の水と石鹸で洗うこと。  
 直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を水またはシャワーで洗うこと。  
 皮膚刺激または発疹生じた場合は、医師の診断 / 手当てを受けること。  
 汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。

眼に入った場合 : 水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。  
 直ちに医師に連絡すること。

飲み込んだ場合 : 口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。気分が悪い時は医師に連絡すること。

## 5. 火災時の措置

消火剤 : 粉末消火器, 泡消火器, 炭酸ガス消火器, 砂, 霧状の水

使ってはならない消火剤 : 棒状の水(炎を拡散する恐れがある)

火災時の危険有害性 : 消防活動の際には有毒ガスが発生するので、煙を吸入しないよう注意する。

特定の消火方法 : 初期の火災には、粉末消火器、炭酸ガス、乾燥砂等を用いる。  
 大規模火災の場合は泡消火剤等を用いて空気を遮断することが有効である。  
 消火のための放水等により、製品もしくは化学物質が河川や下水に流出しないように適切な措置を行う。消火作業は風上から行い、必ず保護具を着用する。  
 関係者以外は安全な場所に退避させる。可燃性のものを周囲から素早く取り除く。  
 (大火災の場合) 爆発のリスクを最小限にする為、霧状の水を使用して容器を冷却する。

消火を行う者の保護 : 適切な保護具(耐熱性着衣等)を着用する。  
 可燃性のものを周囲からすばやく取り除くこと。

## 6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、

保護具及び緊急時措置 : 風上より作業する。作業の際には、保護手袋、前掛け、保護マスク等を着用し、皮膚に付着や蒸気等を吸入しないようにする。

環境に対する注意事項

: 河川等に廃棄しないように注意する。

封じ込め及び浄化の方法・機材

: ウェスなどで拭き取る。  
付着物、廃棄物等は、焼却するか、廃棄物業者に正規の方法で委託し処分する。

二次災害の防止策

: 付近の着火源となりそうなものを速やかに取り除く。  
着火した場合に備えて、適切な消火器を準備する。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

取扱上の注意

技術的対策

: 皮膚、粘膜又は着衣に付けないこと。  
眼及び皮膚への接触を避けるため適切な保護具を着用する。  
取扱い後には手、顔等をよく洗う。

局所排気・全体換気

: 通気の良い作業場所を確保する。  
密閉空間で作業する際は局所排気装置等を活用。

注意事項

: 火気源(生火、アーク、高温物)の近くで取り扱わない。  
取扱いの都度、容器を密閉する。  
密閉された場所における作業には十分な局所排気装置を付ける。

保管

保管条件

: 容器の蓋を密閉状態にし、直射日光の当たらない冷暗所に置く。  
火気、熱源から遠ざけて保管する。

安全な包装材料

: 現行容器のままで保管する。

## 8. ばく露防止及び保護措置

安衛法:化学物質による健康障害防止のための濃度の基準(濃度基準値設定物質)

: 非該当

許容濃度

: 酸化チタン 0.3mg/m<sup>3</sup>(日本産業衛生学会)  
フェノール 19mg/m<sup>3</sup>(日本産業衛生学会)

設備対策

: 密閉空間では局所排気装置を設置すること。  
取扱場所の近くに手洗い、洗眼設備等を設け、その位置を明示する。

保護具

呼吸器の保護具

: 換気条件が悪ければ保護マスク

眼の保護具

: 保護メガネ

皮膚及び身体の保護具

: ゴム手袋、長袖の着衣など

## 9. 物理的及び化学的性質

物理的状态

状態

: ペースト状

色

: 淡黄色

臭気

: アンモニアに類似した臭気

融点・凝固点

: データなし

沸点又は初留点

: データなし

可燃性

: 火をつけると燃焼する。

爆発下限界及び爆発上限界

: 該当しない

引火点

: データなし (含有ポリアミド, ポリアミン 引火点 128~200℃)

自然発火点

: 該当しない

分解温度

: データなし

pH

: 該当しない(水に溶解するとアルカリ性を示す)

|                        |                              |
|------------------------|------------------------------|
| 動粘度率                   | : 該当しない                      |
| 溶解度                    | : 水に対して一部溶解, ケトン系、芳香族溶剤に一部可溶 |
| n-オクタノール/水分配係数(log 値)  | : 該当しない                      |
| 蒸気圧                    | : 該当しない                      |
| 密度(g/cm <sup>3</sup> ) | : 0.8~1.1                    |
| 相対ガス密度                 | : 該当しない                      |
| 粒子特性                   | : データなし                      |

## 10. 安定性及び反応性

|            |                                                                                                       |
|------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 安定性        | : 常温・常圧、密閉状態であれば安定                                                                                    |
| 化学的安定性     | : 通常取り扱いであれば安定                                                                                        |
| 危険有害反応可能性  | : 酸、酸化剤、有機塩素化合物、反応性金属(ナトリウム、カルシウム、亜鉛、銅等)、次亜塩素酸ナトリウム/カリウム、亜硝酸、一酸化二窒素、亜硝酸化合物との混触を避ける。本品はヒドロキシル化合物と反応する。 |
| 避けるべき条件    | : 高温、火花及び直火。混触禁止物質、酸化剤及び酸化する環境。                                                                       |
| 接触混合禁止物質   | : 酸、酸化剤、有機塩素化合物、反応性金属(ナトリウム、カルシウム、亜鉛、銅等)、次亜塩素酸ナトリウム/カリウム、亜硝酸、一酸化二窒素、亜硝酸化合物、エポキシ樹脂                     |
| 危険有害な分解生成物 | : 燃焼などによって硝酸、アンモニア、窒素酸化物、一酸化炭素、二酸化炭素、ニトロソアミン                                                          |

## 11. 有害性情報

### 急性毒性

|            |                                                                                           |
|------------|-------------------------------------------------------------------------------------------|
| 経口         | : 既知成分より計算結果ATEmix=4282mg/kgで2000以上のため区分に該当しない。ただし、毒性未知成分が0.1%以上含有のため区分を分類できないとした。        |
| 経皮         | : 既知成分より計算結果ATEmix=4692mg/kgであり2000mg/kg以上のため区分に該当しない。ただし、毒性未知成分が0.1%以上含有のため区分を分類できないとした。 |
| 吸入:気体      | : 本製品はGHS定義による気体ではないため区分に該当しない。                                                           |
| 吸入:蒸気      | : 既知の成分がすべて区分に該当しない。ただし、毒性未知成分が0.1%以上含有のため区分を分類できないとした。                                   |
| 吸入:粉じん、ミスト | : 既知成分より計算結果ATEmix=3.6mg/Lで、1~5mg/Lのため区分4に該当。吸入すると有害(H332)                                |

|           |                                                                                                                                  |
|-----------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 皮膚腐食性／刺激性 | : (区分1)ポリアミドアミン、ポリアミン、2-ピペラジン-1-イルエチルアミン、メタ-キシリレンジアミン、フェノール、1,3-ビス(アミノメチル)シクロヘキサンの合計含有量が、5%以上のため、区分1に該当。<br>重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷(H314) |
|-----------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

|                      |                                                                                                                                           |
|----------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 眼に対する重篤な損傷性／<br>眼刺激性 | : (区分1)ポリアミドアミン、ポリアミン、4-ターシャリーブチルフェノール、1,3-ビス(アミノメチル)シクロヘキサン、2-ピペラジン-1-イルエチルアミン、メタ-キシリレンジアミン、フェノールの合計含有量が3%以上のため、区分1に該当。<br>重篤な眼の損傷(H318) |
|----------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

|        |                                                                                                  |
|--------|--------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 呼吸器感作性 | : データ不足のため分類できない。                                                                                |
| 皮膚感作性  | : ポリアミドアミン、ポリアミン、2-ピペラジン-1-イルエチルアミン、メタ-キシリレンジアミンの合計含有量が1%以上のため区分1に該当。<br>アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ(H317) |

|          |                                                                                 |
|----------|---------------------------------------------------------------------------------|
| 生殖細胞変異原性 | : 危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有しないため、区分に該当しない。しかし、毒性未知成分が0.1%以上含有しているため、区分を分類できないとした。 |
|----------|---------------------------------------------------------------------------------|

|      |                                                                                 |
|------|---------------------------------------------------------------------------------|
| 発がん性 | : 危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有しないため、区分に該当しない。しかし、毒性未知成分が0.1%以上含有しているため、区分を分類できないとした。 |
|------|---------------------------------------------------------------------------------|

- 生殖毒性 : 4-ターシャリーブチルフェノールの含有量が3%以上のため区分2に該当。  
生殖能又は胎児への悪影響のおそれの疑い(H361)
- 生殖毒性・授乳影響 : データ不足のため分類できない。
- 特定標的臓器毒性(単回ばく露) : 危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有しないため、区分に該当しない。しかし、毒性未知成分が0.1%以上含有しているため、区分を分類できないとした。
- 特定標的臓器毒性(反復ばく露) : 危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有しないため、区分に該当しない。しかし、毒性未知成分が0.1%以上含有しているため、区分を分類できないとした。
- 誤えん有害性 : ペースト状のため区分に該当しない。
- \* 本製品については安全性試験を実施していません。

## 12. 環境影響情報

- 水生環境有害性(急性) : 区分2 水生生物に毒性(H401) 加算法により計算
- 水生環境有害性(慢性) : 区分2 長期継続的影響によって水生生物に毒性(H411) 加算法により計算
- 残留性・分解性 : データなし
- 生体蓄積性 : データなし
- 土壌中の移動性 : データなし
- オゾン層への有害性 : データ不足のため分類できない。

## 13. 廃棄上の注意

- 残余廃棄物 : 都道府県知事の許可を受けた廃棄物業者に正規の方法にて委託し、処分する。  
主剤と硬化剤を混合し硬化させて、固形状になったものは廃プラスチック類として処理する。
- 汚染容器及び包装廃棄 : 空容器を廃棄する時は、内容物を完全に除去した後に処分する。

## 14. 輸送上の注意

- 注意事項 : 転倒、落下、破損のないように積み込み、荷崩れ防止を確実に行うこと。
- 陸上輸送 : 法令の基準に従い積載、運送を行う。
- 海上輸送 : 船舶安全法の定めるところに従うこと。
- 航空輸送 : 航空法の定めるところに従うこと。
- 国連分類 : 8
- 国連番号 : 3259(ポリアミン類(固体)腐食性のもの)
- 容器等級 : III

## 15. 適用法令

### 化審法

- 優先評価化学物質 : 非該当

### 労働安全衛生法

名称等を表示し、又は通知すべき危険物及び有害物, リスクアセスメントを実施すべき危険有害物

表示対象物質 : 4-ターシャリーブチルフェノール,  
1,3-ビス(アミノメチル)シクロヘキサン,  
フェノール,  
トリエチレンテトラミン(不純物)

通知対象物質 : 4-ターシャリーブチルフェノール,  
1,3-ビス(アミノメチル)シクロヘキサン,  
フェノール,  
トリエチレンテトラミン(不純物),  
酸化チタン,  
2-ピペラジン-1-イルエチルアミン,  
メターキシリレンジアミン

- がん原性物質(安衛則) : 非該当

化学物質による健康障害防止のための濃度の基準(濃度基準値設定物質)

: 非該当

皮膚等障害化学物質等及び特別規則に基づく不浸透性の保護具等の使用義務物質

皮膚刺激性有害物質: 4-ターシャリーブチルフェノール,  
1,3-ビス(アミノメチル)シクロヘキサン,  
トリエチレンテトラミン(不純物)

皮膚吸収性有害物質: 4-ターシャリーブチルフェノール

特定化学物質等(特化則) : 非該当

有機溶剤等(有機則) : 非該当

変異原性が認められた化学物質: 非該当

特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律(PRTR法)

第2種指定化学物質 : 4-ターシャリーブチルフェノール(管理番号368政令番号2-106)  
トリエチレンテトラミン(不純物)(管理番号278政令番号2-070)

消防法 : 指定可燃物 合成樹脂類

毒物及び劇物取締法 : 非該当

本製品のトリエチレンテトラミンは製造時の反応不純物のため対象外

## 16. その他の情報

### 参考文献

1) 独立行政法人製品評価技術基盤機構(NITE)Home Page

2) 各原料のSDS

3) JIS Z7572-2019 GHSに基づく化学品の分類方法

危険・有害性の評価は必ずしも十分ではないので、取扱いには十分注意してください。本製品は、この安全データシートをご参照の上、使用者の責任において適正に取り扱ってください。

ここに記載された内容は、現時点で入手できた情報やメーカー所有の知見によるものですが、これらのデータや評価は、いかなる保証をするものではありません。

また法令の改正及び新しい知見に基づいて改訂されることがあります。